

第 2 回
**包括的支援体制の構築に向けた社会
福祉法人等との協働に関する研究会
資料**

包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関するアンケートについて

調査の目的

市町村における包括的な支援と社会福祉法人等の「地域における公益的な取組」の連携の現状を正確に把握し、「包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会」での議論に活用するため

調査の対象、方法等

1 社会福祉法人・施設等

期間 令和3年6月25日から令和3年7月21日まで

回答数 450施設/1531施設 (29.4%)

2 市町村社会福祉協議会

期間 令和3年6月25日から令和3年7月21日まで

回答数 41法人/41法人 (100%)

3 市町村

期間 令和3年7月21日から令和3年7月30日まで

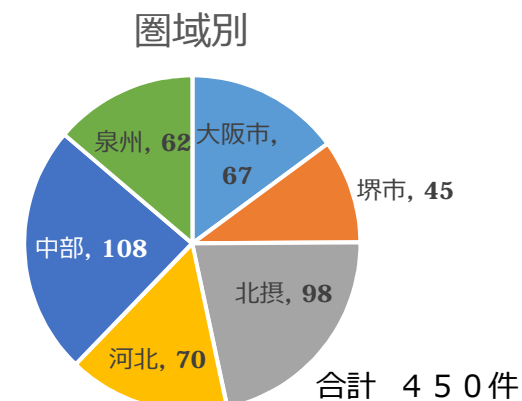
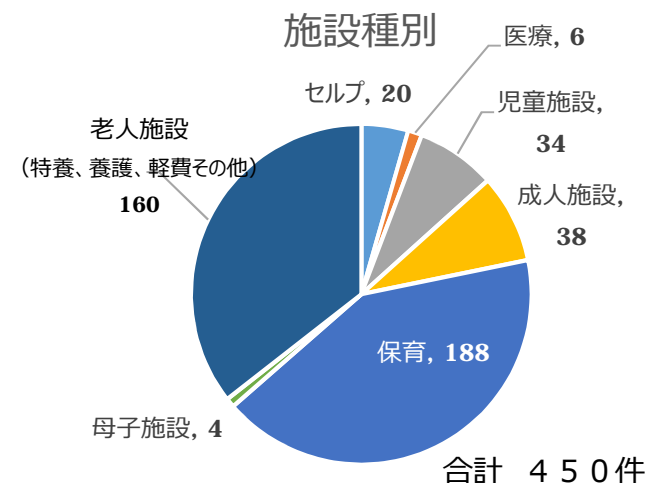
回答数 39市町村/43市町村 (90.7%)

4 民生委員等へのヒアリング

令和3年7月7日 八尾市 民生委員、施設CSW、市社協

令和3年7月13日 吹田市 民生委員、CSW（社協配置）、施設CSW、市社協

令和3年7月14日 茨木市 民生委員、CSW（施設配置）

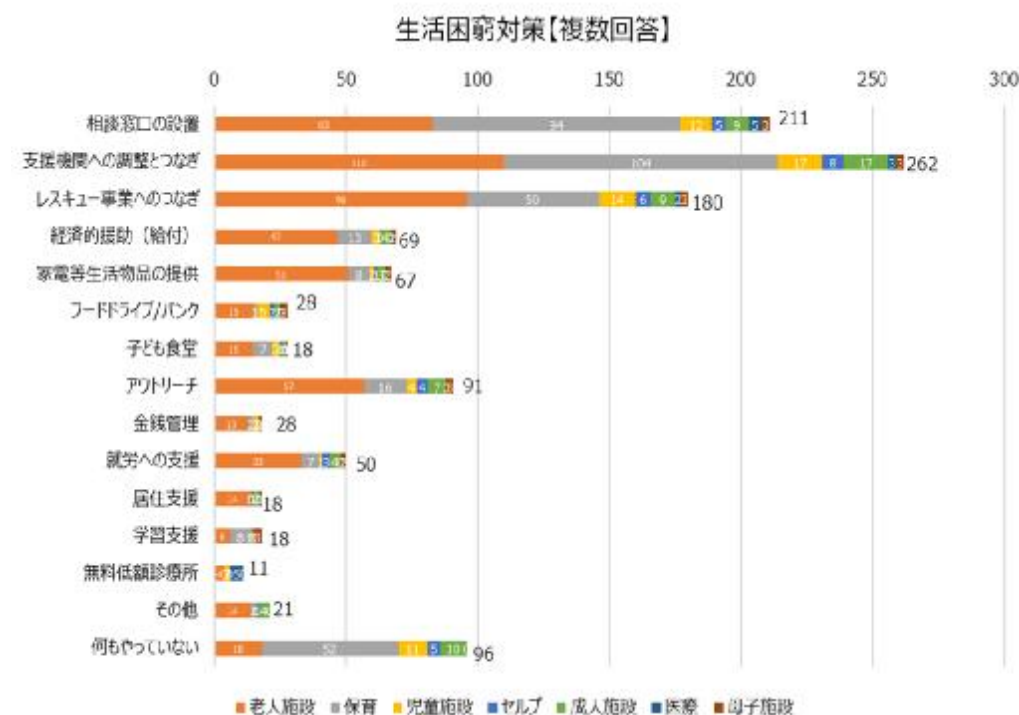
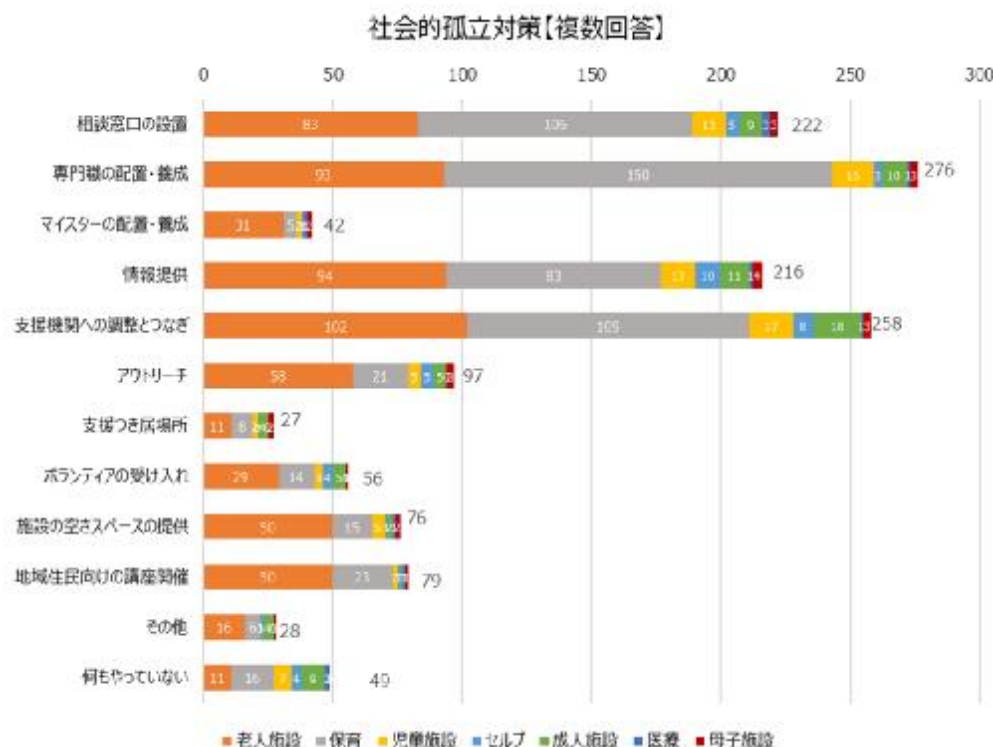


※ CSW（コミュニティソーシャルワーカー）：市町村が配置している「CSW（ ）内は配置箇所」と、各法人・施設が配置している「施設CSW」があり、相談支援や支援機関へのつなぎ、見守り等を行っている。

社会福祉法人・施設等の調査結果①

【質問】各法人・施設が「社会的孤立対策」や「生活困窮対策」として実施している公益的な取組について

➡ 窓口の設置やC S W等の専門職の配置、支援機関とのつなぎ（個別ケース支援）を実施している施設が半数以上あるのに対し、居場所等の参加支援のツールを提供している施設は少ない。



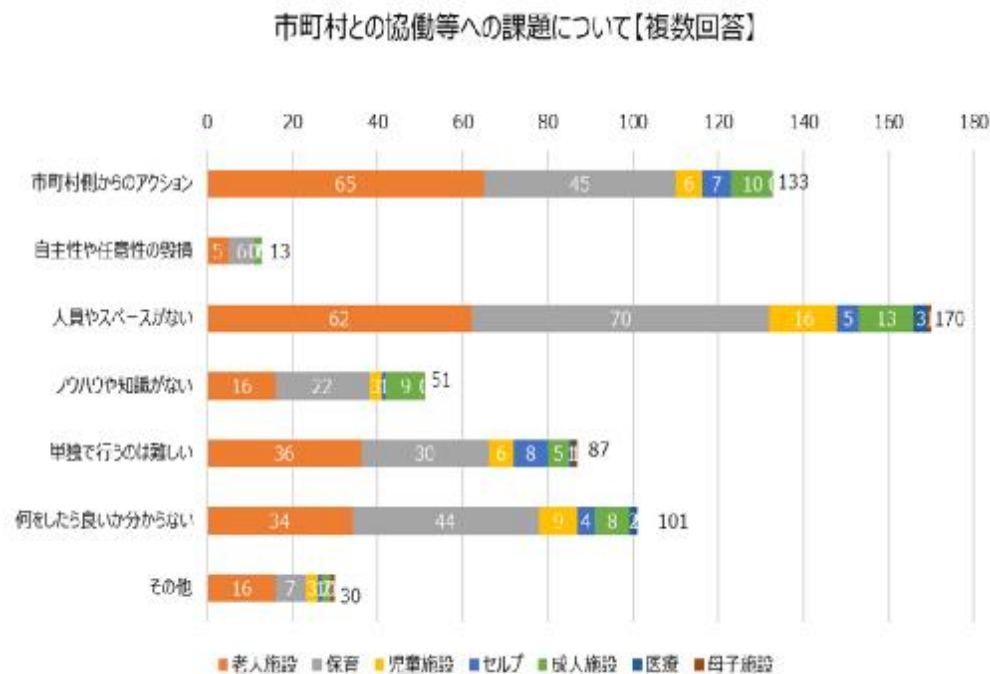
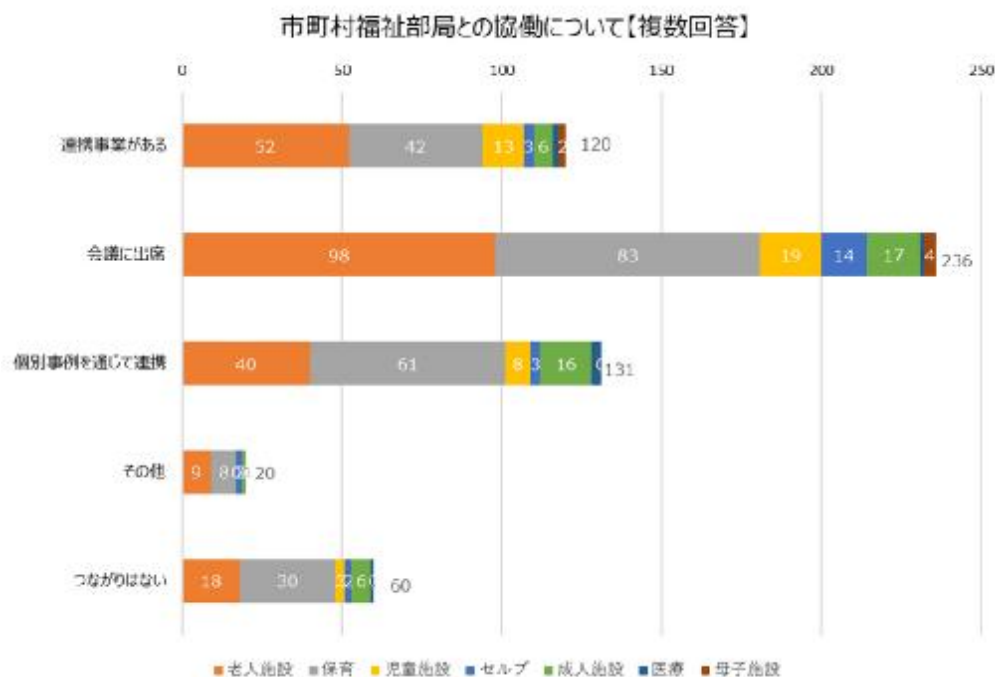
特に力を入れている取組の紹介（○社会的孤立、生活困窮 ●災害時を見据えた平時の活動）

- 子どもの貧困対策や世代間の結び目となる機会創出のため「子ども食堂、ごちゃませ食堂」の実施
- 空き室を利用した脳トレカフェ（高齢者）を実施、また、高齢者が役割を担ってもらう「子どもの居場所」事業を予定
- 地域に潜在している支援が必要な方へ、地域で相談・サポートできる「サポートリーダー」の養成
- 自治会や民生委員と連携し要援護者の把握や、対面が難しくなる場合に備えLINEやZOOMで自治会と会議を開催

社会福祉法人・施設等の調査結果②

【質問】市町村と協働した状況（内容）について、また、市町村との協働に向け課題と感じていることについて

➡ 市主催の会議へは半数程度が参加している。協働に至らないのは施設側の人員等の問題はあるが、協働に対しては前向きな意見が多く、行政側からのアクションがあれば協働はすすむのではないかと感じる。



○協働の好事例の紹介、●市町村と協働する際に課題と感ずること

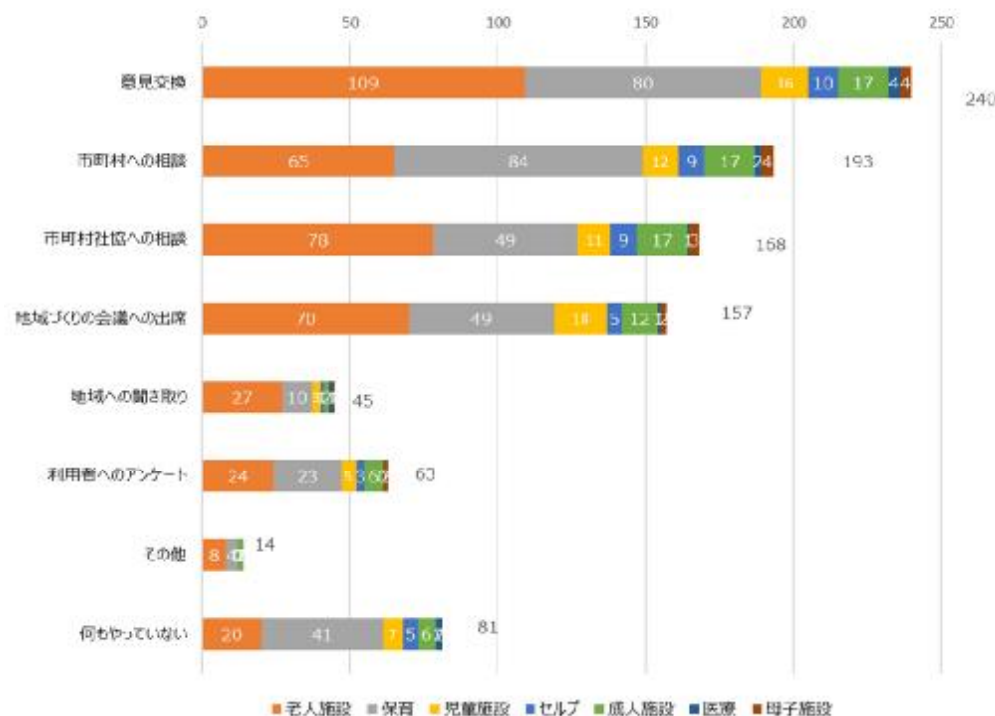
- 福祉避難所の設置に関して、「想定外」をなくすため行政と意見交換に努めている。
- 地域貢献委員会で、市町村と協働による介護人材確保や認知症支援等の協議をしている。
- 土日祝日の動きが市町村は遅く、施設に対応を丸投げである。
- 市町村が協働する施設が偏っており、連携したいと思っても情報が入ってこない。
- 行政と連携することで貢献範囲が市町村域に広げられると、近隣地域への貢献を趣旨としている法人の理念が崩れる。

社会福祉法人・施設等の調査結果③

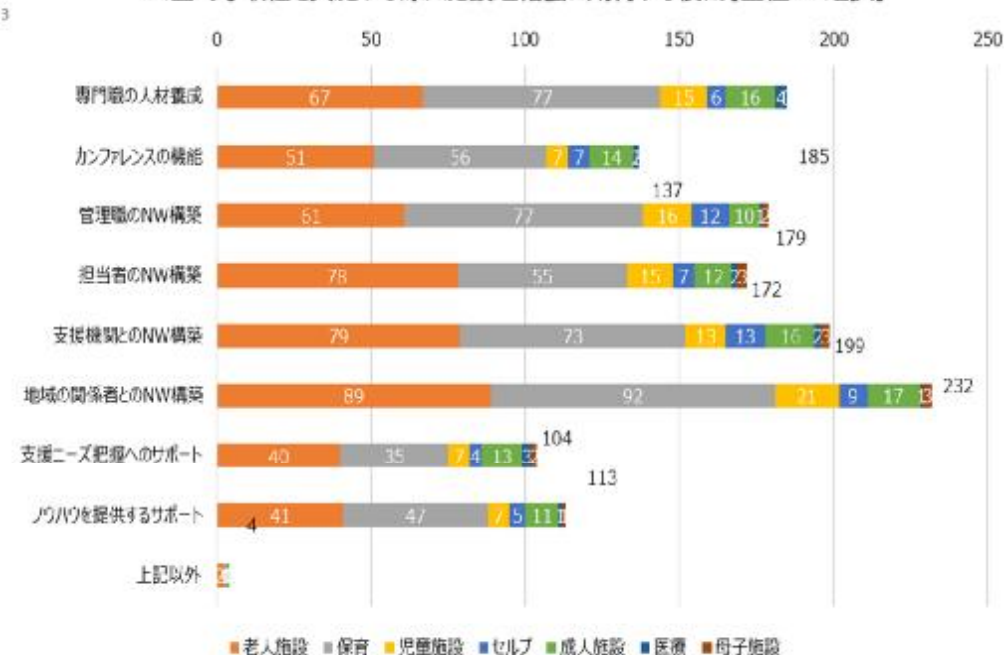
【質問】施設等が公益的な取組を実施する際に支援ニーズや地域課題の把握したか、また、地域貢献委員会に期待することについて

➡ 地域に開放しているスペースを利用している方や団体から地域課題の把握を行っている法人等が多かった。また、地域貢献委員会にはネットワーク構築を期待する回答が多かった。

支援ニーズや地域課題の把握について【複数回答】



公益的な取組を実施する際に施設連絡会に期待する役割【上位3つ選択】



○地域課題の把握から創出された取組の紹介、●地域貢献委員会に期待する役割

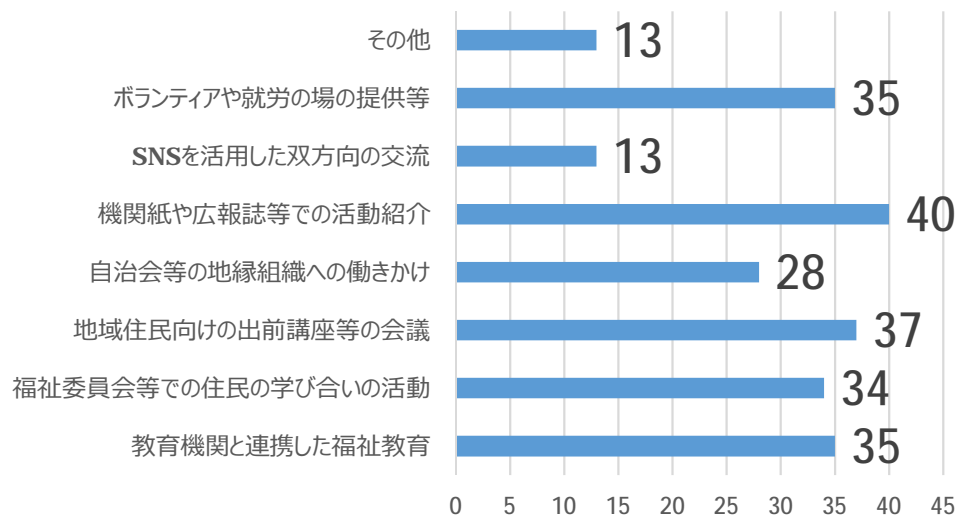
- 買い物難民の課題が地域であったので、施設内で食料品の販売をはじめた。
- 地域ケア会議に参加しており、そこであがった課題の解決にむけた取組を形にしている（認知症カフェ、地域サロン、子ども食堂、移動スーパー等）。
- 市町村、CSW、地域貢献委員会が意見交換や情報共有を行いネットワークを深めるため、委員会の下に実働委員の配置
- 施設の規模に応じて取り組めることが変わるので、取組可能か検討するため様々な事例を提供してほしい。
- 国の制度や市町村の取組、それを踏まえて施設に何を期待されているのか学べる場がほしい。

市町村社会福祉協議会の調査結果①

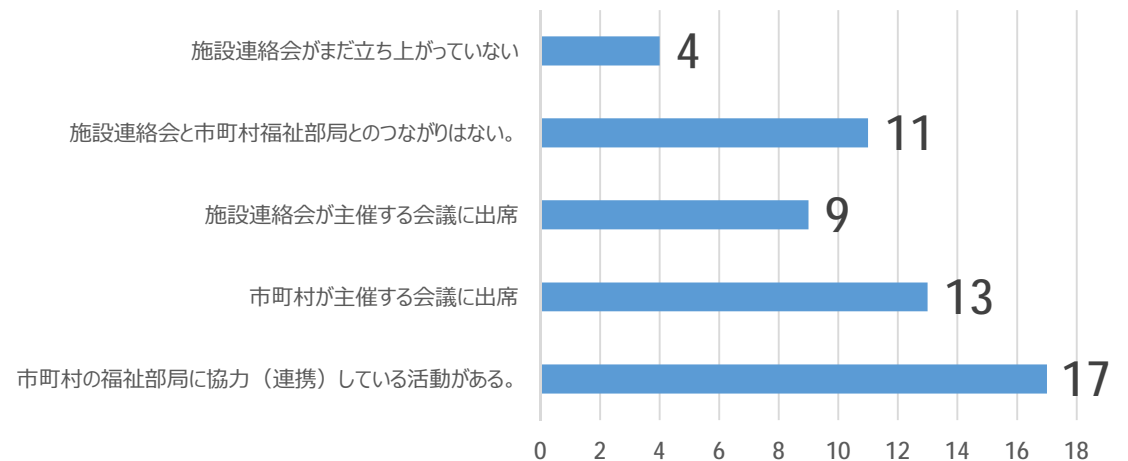
【質問】地域福祉活動への参加促進として社協が実施している取組について、また、地域貢献委員会と市町村の連携状況（内容）について

➔ SNSの活用等のICTの取組を行っている社協は1/3程度であったがそれ以外の活動はほぼ実施されている。なお、施設と協働して活動をしている社協に偏り（やっているところは複数で協働）が見られた。地域貢献委員会と市町村の協働は半数に至っていない。

地域福祉活動への参加促進



地域貢献委員会と市町村福祉部局との連携



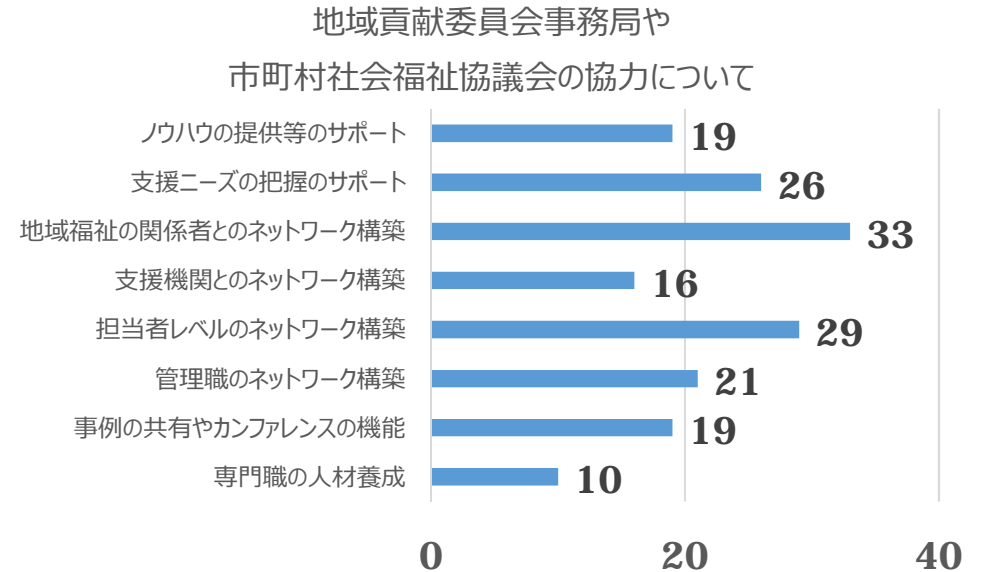
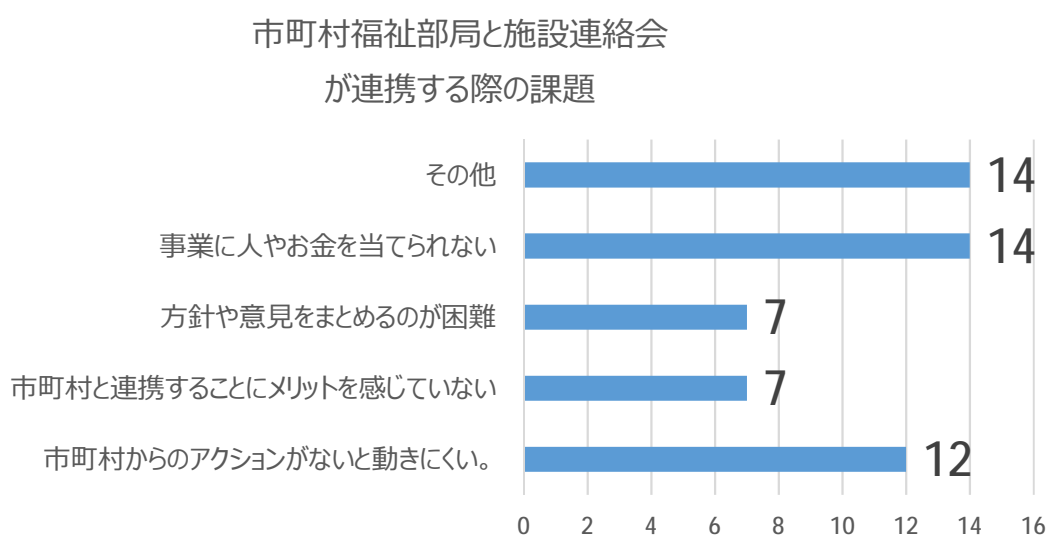
特に力を入れている取組の紹介（○地域福祉活動 ●地域貢献委員会）

- 住民の声を施策に反映させるため、地域課題を話し合う会議の開催
- 小・中学生が福祉委員会を組織し、困りごとの解決や地域活動を実施
- 福祉事業所と一緒に小中学校で実施している福祉教育に参画し、学校や地域と福祉事業所が顔の見える関係を構築、又地域住民と福祉事業所スタッフが参画したボラバスの運行や、地域の防災訓練への福祉事業所の参加による関係づくり
- 地域への周知としてイベントの企画実施や、相談先を掲載したマップの作成及び配布
- 避難行動要支援者への支援体制の構築のため地域住民等と施設職員の協力による訪問調査
- 福祉委員会の活動や地縁組織の集会等へ訪問による支援のネットワークづくり等

市町村社会福祉協議会の調査結果②

【質問】市町村と地域貢献委員会の連携について課題に感じる事、また、公益的な取組を行う施設等へ協力したいことについて

➡ 市町村との連携について課題はあるが前向きな意見が多かった。また、施設側からの期待が高かった専門職の人材養成や支援機関とのネットワーク構築は、地域貢献委員会事務局（市町村社協）の協力は低かった。



市町村と連携する際に課題と感ずること（○地域貢献委員会との連携、●公益的な取組との連携）

- 地域貢献委員会の認知度が低く、行政に存在が認知されていない。
- 地域貢献委員会は種別が異なる施設が参画するので市の連携先が高齢、障がい、子ども等の複数になるため、集約しにくい。
- まずは、行政と地域貢献委員会がお互いの役割や特性、強みについて理解する場が必要
- 市町村が包括的支援の方針を示すなど行政のリーダーシップや、平素からのコミュニケーションがないと難しい。
- 公益的な取組に対して施設に温度差があり、意識の低い施設への丁寧なフォローが必要
- 目的や取組に応じた地域の単位の整理や、規模や環境も様々な施設の負担が大きくなりすぎない配慮が必要

民生委員等へのヒアリング結果

ヒアリング内容

事例 1

生活困窮と孤立（手帳の未取得）

- ・ 施設CSWによるアウトリーチ
- ・ 無料低額診療
- ・ レスキュー事業（薬代、入院時の日用品）
- ▶ ボロボロの身なりでたばこの吸い殻を集めている姿をみた民生委員からの連絡で、市社協と施設CSWが訪問を繰り返すが、支援拒否
- ▶ 本人からの暴力により同居していた父が施設入所となったことで、食事が出来なくなり、市社協へSOS
- ▶ 診察の結果、即入院となり、退院後は保護の申請と障がい手帳を取得し、施設に入所

事例 2

他市から転入してきた母子家庭

- ・ レスキュー事業（クーラー設置等）
- ・ 家電リユース
- ▶ 実母からの暴力と金銭的搾取によりシェルターへ逃げ込んできた母子家庭
- ▶ 自地域に転入の連絡を受けたCSWは、地域の人に参加するセーフティ会議に匿名で情報共有
- ▶ 転入後の必要な家電はリユースでそろえ、小学校の用品や子供服は、学校が声をかけてそろえた。
- ▶ 自治会長はじめ地域の人親子が孤立しないよう見守っており、子が中学校で不登校になった時もすぐに対応できた。

事例 3

自らSOSを出せなかった被保護世帯

- ・ 施設CSWによるアウトリーチ
- ・ レスキュー事業（クーラー設置等）
- ・ 家電リユース
- ▶ 病気で緊急搬送を繰り返し、帰路のタクシー代で保護費を使い切っていた。
- ▶ クーラーや電話、家電は一見あるがすべて壊れており、使えない状況であった。
- ▶ 本人が市CWに現況を伝えられていなかったため、施設CSWが今後タクシー代を請求できるよう調整
- ▶ 不明だった家主を民生委員が探し出し、クーラー交換の了解を得て、クーラーを設置。設置後、本人の体調が回復

民生委員から公益的な取組への意見

- 今回訪問した3地区では、民生委員自身は複合課題のある世帯を発見したら、すぐに社協やCSWにつなげていた。民生委員から連絡を受けた社協や施設CSWは定期的に訪問し、日常の見守りは民生委員にお願いしていた。
- 本人が支援の必要を感じたタイミングを逃さず社会貢献事業で当面の課題を解決し、その後は施設に入所したりや地域（民生委員等）で見守りを継続している。
 - ➔ 民生委員は、直接施設や社会貢献事業とつながりはなかったが、社協やCSWや地域包括等を通じて、支援が継続されていることは把握しており、専門職による支援があることで安心して見守りができた。

施設CSW等から公益的な取組を進めるための意見

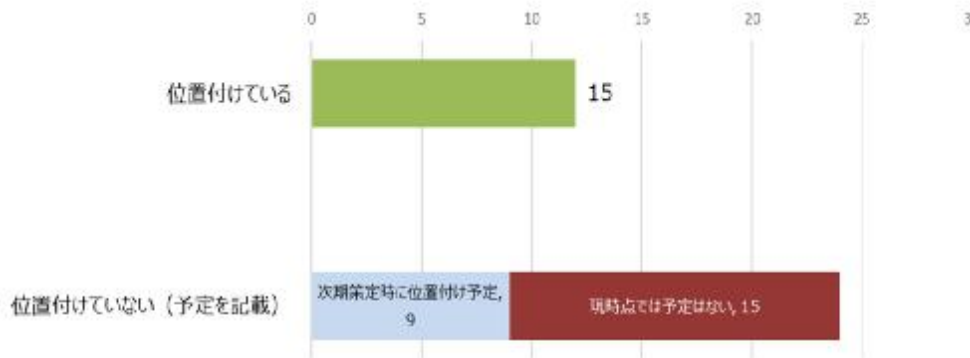
- 府への期待として、公益的な取組をすすめるには施設長の理解が重要なので、施設長へ積極的に取り組むべきと働きかけてほしい。
- はじめて取り組む施設には、簡単なことから始めてもらったほうがよい。まずはメーリングリストに入るところから始めて、メールを見てできそうなものに手をあげてもらいながら徐々に活動をひろげていくよう最初のハードルは下げておく。

市町村調査結果

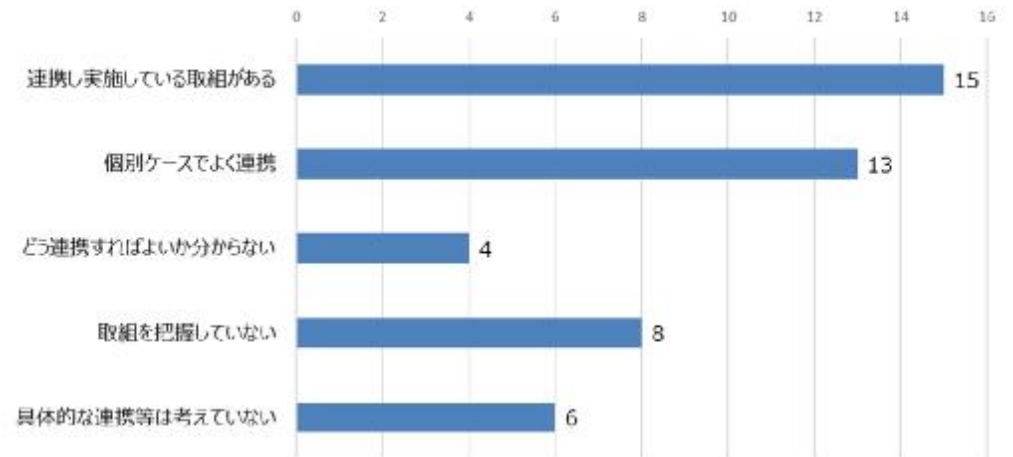
【質問】公益的な取組を地域福祉計画へ位置づけているか、また、施設等や地域貢献委員会との連携の状況について

➔ 計画に位置付けている市町村は1/3程度であったが、計画に位置付けている市町村については連携が進んでいた。一方で地域貢献委員会への参画は進んでいない。

包括的な支援体制整備として「公益的な取組」の計画への位置づけ



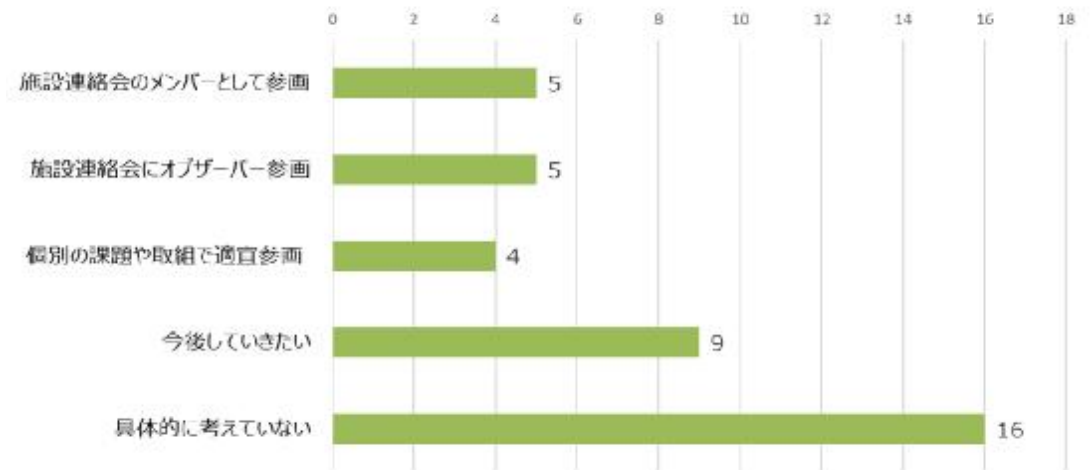
包括的な支援と「公益的な取組」との連携について



施設等と協働する際に課題と感ずること

- 地域資源を把握した上で連携する必要があるが、公益的な取組の把握が課題
- 行政、関係機関、施設等が互いの役割について共通認識を持って関わっていける連携体制のあり方の整備が必要
- 連携先の確保や委託業務との整理・調整等が課題
- 施設の地域との連携への思いに濃淡があるので、対象分野を絞りがちになる。

「地域貢献委員会（施設連絡会）」との連携について



報告書作成に向けた議論の方向性

目的

大阪府内の施設等は、これまで公益的な取組として地域の生活課題の解決や課題を抱える方の発見等、地域の中で地域住民とともに支え合う仕組みづくりに取り組んできた。また、大阪には施設の種別を超えた施設等が参画する地域貢献委員会が多くの市町村に設置され、市町村域で複合課題を解決する仕組みづくりにも取り組んできている。

これらの取組は、包括的支援体制の先駆的な取組であり、市町村において包括的支援体制の整備を進めるにあたり、核となりえる重要な取組であることから、施設等と協働し、地域ニーズに合った包括的支援体制の整備を市町村が進められるよう具体的方策について提案する。

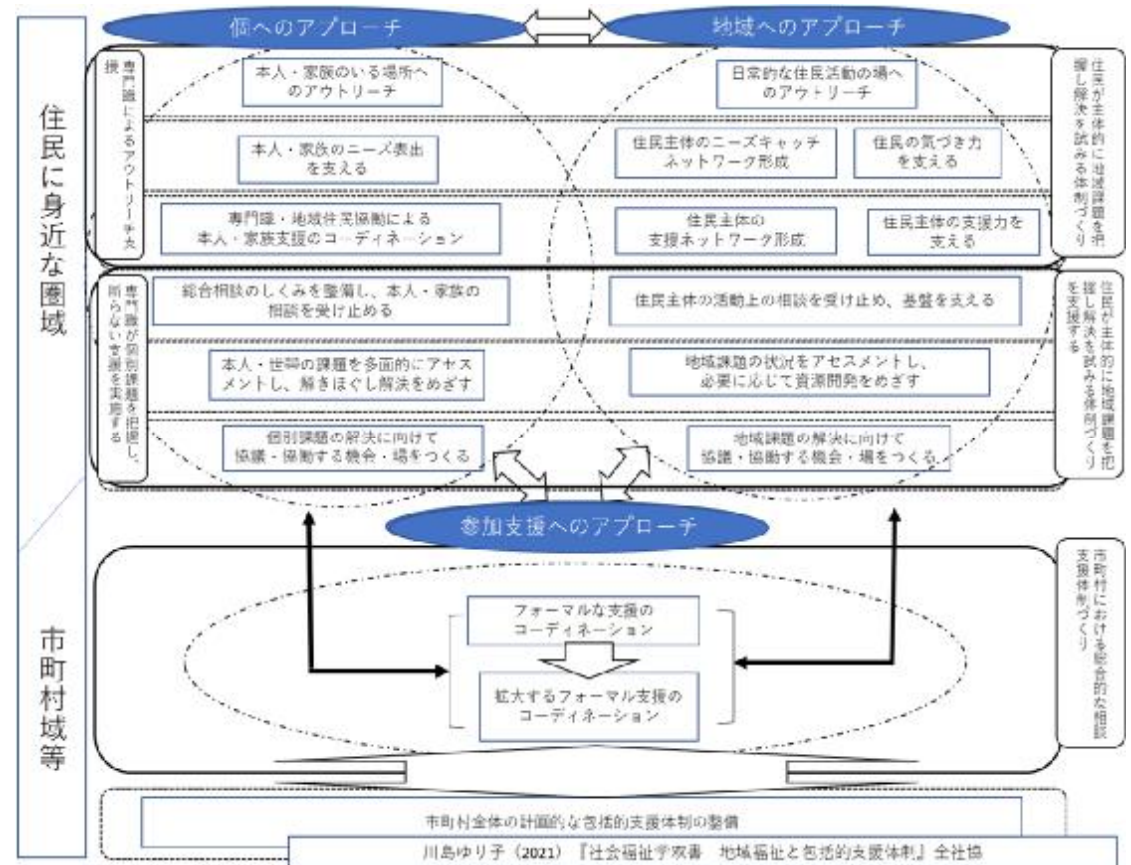
連携に向けた考え方（方向性）

- (1) 「地域を基盤としたソーシャルワーク」の視点での協働
- (2) 包括的支援に向けた体制づくりと公益的な取組との関係性
- (3) 公益的な取組を発展させるために各主体に期待される役割
 - ① 行政 ② 社会福祉協議会 ③ 施設等
- (4) 留意すべき事項

大阪らしい連携構築に向けたモデルの提案

- 1 地域貢献委員会をハブにした市町村と施設等のネットワーク構築ができないか。
- 2 市町村、市町村社会福祉協議会、施設等、地域貢献委員会の連携強化に向けた大阪モデルの検討ができないか。

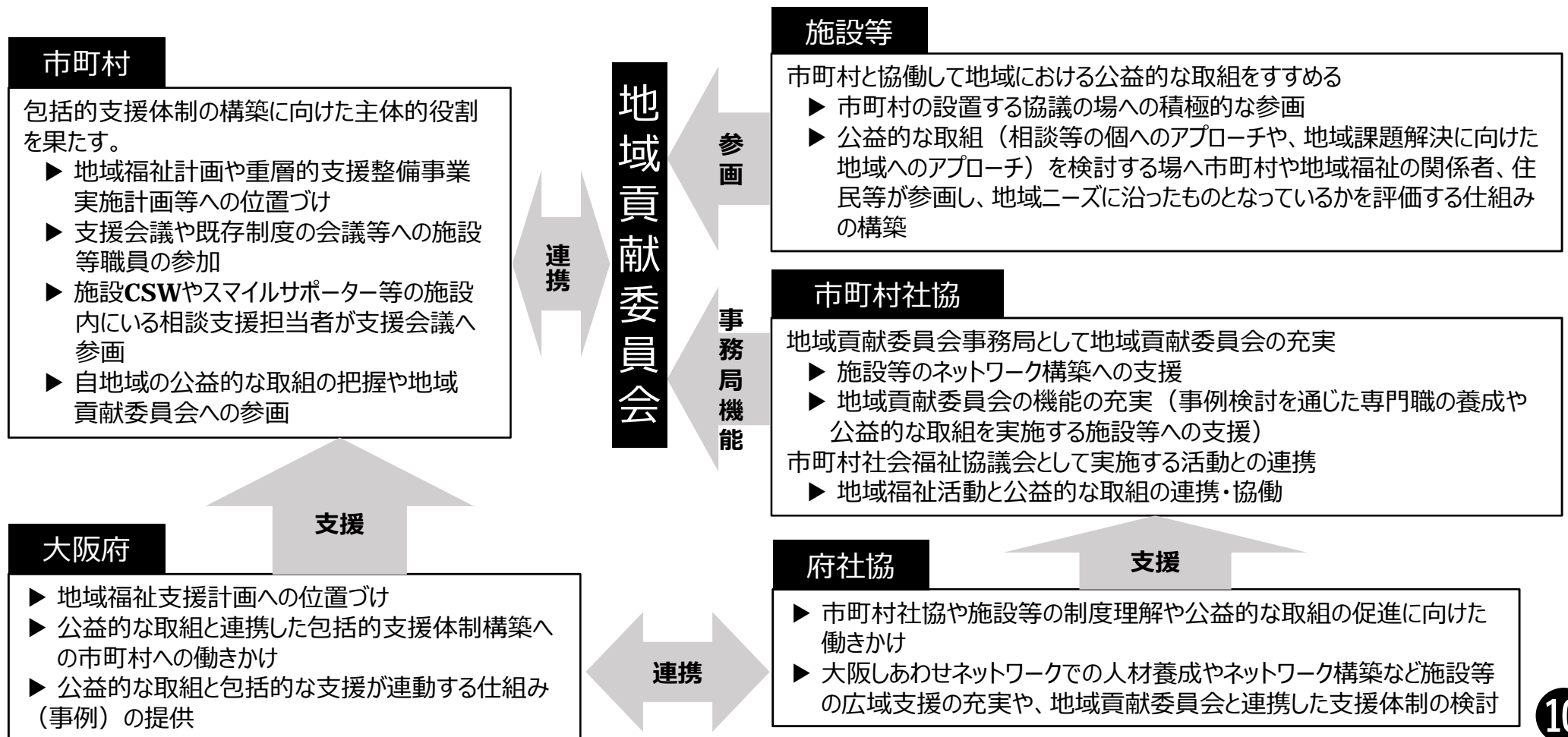
など



アンケートから見てきた現状・課題

- 市町村の包括的な支援と公益的な取組との連携はすすんでおらず、連携をすすめるため以下の課題への対応策を推進
 - ① 施設等の取組の温度差（人員・予算がない中でどこまで取り組むか） → 取組をすすめる方策、施設への働きかけの検討
 - ② 公益的な取組や施設連絡会の認知度や各主体の役割の理解不足 → 好事例の紹介や地域貢献委員会への出席の働きかけ
 - ③ 市町村の包括的な支援体制のリーダーシップ → 市町村は地域ごとの社会資源を把握し、協働にむけた働きかけを促進

大阪らしい連携の在り方の提案（地域貢献委員会と施設等が先導的役割を果たせるような大阪モデルの検討）



今後の取組・スケジュール（案）

時期	検討会
8月4日	【第2回】 現状、課題の抽出 各主体への提案の方向性検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回検討会の意見を踏まえた内容整理 ・ 各主体への提案の具体化 ・ 報告書作成に向けた検討 ・ 市町村、市町村社協、施設へ研究会での検討状況の周知
10月中旬	【第3回】 具体的提案の検討 次年度事業の検討 報告書案の検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回検討会の意見を踏まえた内容整理 ・ 具体的提案を踏まえた報告書案の作成 ・ 次年度事業のスキーム構築 ・ 市町村、市町村社協、施設へ研究会での検討状況の周知
12月頃	【第4回】 報告書完成

社会福祉法人等へのアンケート

大阪府では、「包括的支援体制（※1）の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会」において、社会福祉法人等と、市町村福祉部局や市町村社会福祉協議会等との連携強化に向け研究を進めております。

今般、本研究会での議論に活用させていただくため、「地域における公益的な取組（※2）」の現状について把握いたしたく、以下のアンケートにご協力をお願いします。

※1 包括的支援体制：住民が地域福祉活動へ参加するための環境を整備し、「住民に身近な圏域」において分野を超えて地域生活課題を把握し解決を試みることができ、「市町村圏域」において多機関の協働による地域生活課題を解決する体制

※2 地域における公益的な取組：制度の狭間にあるニーズへの対応や、地域への貢献となる活動で、施設等の費用負担による低額又は無料で提供される（公費負担がある場合は法人の資産等を活用した追加のサービスが行われる）活動

施設名（ ） 施設種別（ ） 所在市町村名（ ）

※施設ごとに回答をお願いします。同一法人で複数の施設が一緒に公益的な取組をしている場合は、重複して結構ですので各施設の回答すべてにチェックをいれてください。

**(1) - 1
社会的孤立対策
【複数回答】**

孤立死や虐待、ひきこもりなど生活課題（又はそのリスク）を抱えてはいるが、つながりを持たず誰にも相談できないことから支援を受けられない方・世帯が地域の中に潜在しています。そのような社会的孤立に陥った方・世帯に対して貴施設で実施している公益的な取組にチェックをお願いします。

- 相談窓口の設置
- 専門職（施設CSW、スマイルサポーター）の配置・養成
- 専門職（CSWマイスター）の配置・養成
- 支援機関やサービス等の情報提供
- 支援機関への調整とつなぎ
- 自宅への訪問や支援機関等への同行などのアウトリーチ
- 生活習慣を整えるなどの支援つき居場所
- ボランティア等として当事者の受け入れ
- サロンや喫茶など地域住民同士の交流を目的とした施設の空きスペースの提供
- 地域住民向けの講座開催
- その他（効果を感じている取組や、力を入れている取組については（1） - 3に記載をお願いします。）
- 何もやっていない

<p>(1) - 2 生活困窮対策 【複数回答】</p>	<p>病気や家族の介護等で思うように働くことができず、経済的な困窮に陥っている方・世帯が地域の中にいらっしゃいます。そのような生活困窮世帯への支援として貴施設で実施している公益的な取組にチェックをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 相談窓口の設置 <input type="checkbox"/> 支援機関への調整とつなぎ <input type="checkbox"/> 生活困窮レスキュー事業へのつなぎ <input type="checkbox"/> 経済的援助（給付） <input type="checkbox"/> 家電等生活物品の提供 <input type="checkbox"/> フードドライブ/フードバンク <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自宅への訪問や支援機関等への同行などのアウトリーチ <input type="checkbox"/> 金銭管理（買い物支援や自立相談支援機関と連携した家計改善） <input type="checkbox"/> 就労への支援（中間的就労含む） <input type="checkbox"/> 居住支援（居住支援法人の登録含む） <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 無料低額診療所 <input type="checkbox"/> その他（効果を感じている取組や、力を入れている取組については（1） - 3に記載をお願いします。） <input type="checkbox"/> 何もやっていない
<p>(1) - 3 社会的孤立及び生活困窮対策の好事例について 【自由記述】</p>	<p>社会的孤立対策や生活困窮世帯への支援として、貴施設が実施している公益的な取組のうち効果を感じている取組や特に力を入れている取組、その理由について教えてください。 ※なければ回答は不要です。</p> <p>（記載例） アウトリーチ支援 理由：経済的困窮にある方は、自立相談支援機関に行くことや生活保護の申請に抵抗をしめす方が多く、訪問を繰り返し信頼関係を築いたのち、支援機関に同行することで支援につながるが多いため。また、自宅を訪問することで家族の課題も把握でき、世帯全体への包括的な支援ができる。</p> <p>（</p>

<p>(1) - 4 災害時支援を見据え、平時から実施している活動の好事例 【自由記述】</p>	<p>災害時に多くの命を救うには平時から災害時を想定した取組を進めておくことが大切です。 災害時支援を見据えた取組として、既に実施している公益的な取組で効果を感じている取組や特に力を入れている活動とその理由について教えてください。 ※なければ回答は不要です。</p> <p>(記載例) 社会福祉施設の車両を活用した移動支援を平時から行うことで、災害時の避難行動要支援者への対応の仕組みづくりを構築している。</p> <p>()</p>
<p>(2) - 1 支援ニーズや地域課題の把握について 【複数回答】</p>	<p>公益的な取組には、制度の狭間にあるニーズへの対応や地域課題の解決が期待されておりますが、貴施設において支援ニーズや地域課題を把握するために行っていることがあれば、チェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域住民や地域福祉の関係者との意見交換 <input type="checkbox"/> 市町村への相談 <input type="checkbox"/> 市町村社会福祉協議会への相談 <input type="checkbox"/> 市町村等が主催する地域づくりの会議への出席 <input type="checkbox"/> 住民アンケートや自治会等の地縁組織への聞き取り <input type="checkbox"/> 利用者へのアンケート <input type="checkbox"/> その他（上記以外で把握している場合については(2) - 2に記載をお願いします。） <input type="checkbox"/> 何もやっていない</p>
<p>(2) - 2 支援ニーズや地域課題の把握の好事例【自由記述】</p>	<p>支援ニーズや地域課題を把握した上、実施（見直し）した公益的な取組があれば、支援ニーズ等の把握方法と実施（見直し）した事業内容について教えてください。</p> <p>(記載例) これまで施設の空きスペースを開放して高齢者向けの喫茶を開いていたが、認知症の方が交流できる場所がなく、地域の中で孤立していることが住民座談会で把握できたので、平成×年度から認知症カフェをはじめた。</p> <p>()</p>

<p>(3) - 1 市町村福祉部局との協働について 【複数回答】</p>	<p>社会福祉法人と市町村がお互いの立場を理解し協働するためには、平素より意識して意見交換や情報交換を行うなど顔の見える関係づくりを行っておくことが大切です。 市町村福祉部局との関係構築で貴施設で行っていることがあればチェックしてください。</p>
<p>(3) - 2 市町村福祉部局との協働の好事例 【自由記述】</p>	<p>市町村福祉部局に協力（協働）して実施している活動で効果を感じている取組があればその取組と連携内容について教えてください。</p> <p>（記載例） 市が実施している配食サービスの対象とはならないが、見守りや栄養改善が必要な家庭への配食サービスを公益的な取組として実施している。配食サービスにより地域や配食先の家庭との信頼関係が構築でき、相談支援にもつながっている。</p>
<p>(3) - 3 市町村との協働等への課題について 【複数回答】</p>	<p>市町村との協働や公益的な取組を行う際に貴施設が課題や不安に感じるものがあればチェックをお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> 協働したいが市町村側からのアクションがないと施設からは動きにくい。 <input type="checkbox"/> 連携することで公益的な取組の自主性や任意性が損なわれるのではないかと不安 <input type="checkbox"/> 人員やスペースがなく公益的な取組に人や場所を当てられない。 <input type="checkbox"/> 公益的な取組を行うノウハウや知識がなく市町村とつながっても出来るか分からない。 <input type="checkbox"/> 公益的な取組を単独で行うのは難しいので複数の施設と一緒にあれば取り組みたい。 <input type="checkbox"/> 市町村と協働はしたいが具体的に何から始めたら良いのかが分からない。 <input type="checkbox"/> その他（</p>

<p>(3) - 4 市町村福祉部局との協働等 への課題【自由記述】</p>	<p>上記の設問で「その他」にチェックされた施設にお伺いします。 市町村福祉部局との協働や、公益的な取組をすすめるために貴施設で課題と感じていることについて記載をお願いします。 ※なければ回答は不要です。</p> <p>(記載例) 昨年度、公益的な取組を検討するために地域の生活課題の把握を行ったが、社会的孤立の支援ニーズがつかめなかった。支援ニーズがないのか、把握の仕方が悪いのかよく分からないままになっている。</p>
<p>(4) - 1 公益的な取組を新たに実施 (拡充)する際に地域貢献 委員会(施設連絡会)に期 待する役割</p>	<p>()</p> <p>地域貢献委員会(施設連絡会)では、市町村域で事例の共有や人材養成等を実施されていますが、貴施設が公益的な取組をさらに広げていくため今後どのような役割を期待しますか。 【期待するもの上位3つにチェックしてください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 専門職の人材養成 <input type="checkbox"/> 事例の共有やカンファレンスの機能 <input type="checkbox"/> 施設(施設長等管理職)のネットワーク構築 <input type="checkbox"/> 担当者レベルのネットワーク構築 <input type="checkbox"/> 支援機関(地域包括支援センター、基幹相談支援センター、自立相談支援機関等)とのネットワーク構築 <input type="checkbox"/> 地域福祉の関係者(民生委員、福祉委員、NPO、当事者団体等)とのネットワーク構築 <input type="checkbox"/> 支援ニーズや地域生活課題の把握へのサポート <input type="checkbox"/> 公益的な取組を行いたい社会福祉法人にノウハウ等を提供するサポート体制 <input type="checkbox"/> 上記以外(期待することが具体的にありましたら(5)に記載をお願いします。)

<p>(4) - 2 市町村の事業に協力・協働する際に地域貢献委員会（施設連絡会）に期待する役割 【自由記述】</p>	<p>現在、市町村では様々な関係機関とネットワークを構築し、課題がある方や世帯を地域全体で支える包括的支援体制の整備に取り組んでいます。 市町村事業に協力・協働をしながら貴施設が公益的な取組を実施する場合、地域貢献委員会（施設連絡会）にどのような役割を期待しますか。</p> <p>（記載例） 国の制度や市町村の取組について知る機会が少なく、施設として具体的に何をしたら良いのか分からないので、国の動向や他の施設の取組について情報提供をしてほしい。</p>
<p>(5) その他</p>	<p>本設問以外にも、市町村との協働や公益的な取組を進めていく際に気になることがございましたら記載をお願いします。</p>

市町村社会福祉協議会へのアンケート

大阪府では、「包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会」を設置して、社会福祉法人・施設等と市町村や地域の関係機関との連携強化に向け研究を進めております。

今般、研究会での議論に利用させていただくため、市町村社会福祉協議会がこれまで包括的支援体制の整備に向け、取り組んでこられた様々な活動のうち、特に「地域福祉活動への参加促進」と「地域貢献委員会（施設連絡会）」について焦点をあて、現状を把握いたしたく、以下のアンケートにご協力賜りますようお願い申し上げます。

<p>(1) - 1 地域福祉活動への参加促進 【複数回答】</p>	<p>包括的支援体制の整備に向けて、地域住民がその地域に存在する多様な課題に気づき、支え合いながら暮らすことができるよう全世代を対象に地域福祉活動への参加を促していくことは重要です。貴会で実施している地域福祉活動への参加促進の取組についてチェックをお願いします。</p>
<p>(1) - 2 地域福祉活動への参加促進</p>	<p>上記①～⑧の中で、社会福祉法人等における公益的な取組と協働して実施しているものがありますか。該当する番号を全て記載してください。</p> <p>()</p>
<p>(1) - 3 地域福祉活動への参加促進 として力を入れている活動 【自由記述】</p>	<p>住民に地域福祉活動に参加してもらうため、貴会が特に力を入れている①活動と②その理由を教えてください。※なければ回答は不要です。</p> <p>(記載例)</p> <p>①シニア元気応援事業 ②シニアのセカンドキャリアを応援するため関係機関と連携してボランティアや就労等、シニアのニーズに合ったマッチング事業を実施している。</p>

<p>(2) - 1 地域貢献委員会（施設連絡会）として力を入れている取組 【自由記述】</p>	<p>施設等と地域のつながりを強化するため地域貢献委員会（施設連絡会）が組織化されましたが、地域貢献委員会（施設連絡会）が特に力を入れている①活動と②その理由について教えてください。※なければ回答は不要です。</p> <p>（記載例） ①ケース会議 ②施設の相談員が事例を抱え込んで困っていることが多いので、CSWマイスターとCSW、COW等の地域のコーディネーター、関係する支援機関の相談員等がケースに応じて参集し、ケース検討を地域貢献委員会（施設連絡会）で行っている。</p> <p>()</p>
<p>(2) - 2 地域貢献委員会（施設連絡会）と市町村福祉部局との連携 【複数回答】</p>	<p>これまで地域貢献委員会（施設連絡会）が市町村福祉部局と連携した事業を実施したり、地域貢献委員会（施設連絡会）に市町村職員が参加したりしていますか。</p> <p><input type="checkbox"/>市町村の福祉部局に協力（連携）している活動がある。 <input type="checkbox"/>市町村が主催する地域課題解決やネットワーク構築に向けた会議に出席している。 <input type="checkbox"/>地域貢献委員会（施設連絡会）が主催する地域課題解決やネットワーク構築に向けた会議に市町村職員が出席している。 <input type="checkbox"/>地域貢献委員会（施設連絡会）と市町村福祉部局とのつながりはない。 <input type="checkbox"/>地域貢献委員会（施設連絡会）がまだ立ち上がっていない。【設問（3） - 1へ】</p>
<p>(2) - 3 市町村福祉部局と地域貢献委員会（施設連絡会）が連携する際の課題 【複数回答】</p>	<p>自地域の地域貢献委員会（施設連絡会）が市町村福祉部局と連携・協力する際の課題になると感じるものがありますか。 ※市町村福祉部局とのネットワーク構築や、地域貢献委員会（施設連絡会）で市町村が参画したカンファレンスを行うことを想定</p> <p><input type="checkbox"/>市町村側からのアクションがないと地域貢献委員会（施設連絡会）からは動きにくい。 <input type="checkbox"/>地域貢献委員会（施設連絡会）が、市町村と連携することにメリットを感じていない。 <input type="checkbox"/>連携することで地域貢献委員会（施設連絡会）の自主性が損なわれる不安がある。 <input type="checkbox"/>地域貢献委員会（施設連絡会）としての方針や意見をまとめるのが困難である。 <input type="checkbox"/>人員や予算が少なく事業に人やお金を当てられない。 <input type="checkbox"/>その他</p>

<p>(2) - 4 市町村と地域貢献委員会 (施設連絡会) が連携する 際の課題 【自由記述】</p>	<p>上記の設問で「その他」にチェックされた事務局にお聞きします。 市町村との連携・協力で課題と感じていることについて記載をお願いします。</p> <p>()</p>
<p>(3) - 1 地域貢献委員会 (施設連絡会) 事務局や市町村社会福祉協議会の協力について 【複数回答】</p>	<p>施設等が市町村との協働が円滑にすすむよう、地域貢献委員会 (施設連絡会) 事務局や市町村社会福祉協議会として協力したいことがありますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 専門職の人材養成</p> <p><input type="checkbox"/> 事例の共有やカンファレンスの機能</p> <p><input type="checkbox"/> 施設 (施設長等管理職) のネットワーク構築</p> <p><input type="checkbox"/> 担当者レベルのネットワーク構築</p> <p><input type="checkbox"/> 支援機関 (地域包括支援センター、基幹相談支援センター、自立相談支援機関等) とのネットワーク構築</p> <p><input type="checkbox"/> 地域福祉の関係者 (民生委員、福祉委員、NPO、当事者団体等) とのネットワーク構築</p> <p><input type="checkbox"/> 支援ニーズや地域生活課題の把握へのサポート</p> <p><input type="checkbox"/> 地域における公益的な取組を行いたい施設等へのノウハウの提供等のサポート</p>
<p>(3) - 2 施設等の公益的な取組と市町村との協働について。</p>	<p>施設等はこれまで公益的な取組として、参加支援や地域づくり支援に類似する活動を行ってきましたが、包括的支援体制の社会資源として市町村事業と連携させる際に課題になるだろうと思うことがありますか。</p> <p>(記載例) 市町村から話があっても、具体的に何をしたら良いのか分からない施設が多いと思うので、何をするのか企画段階からの丁寧なサポートが必要</p> <p>()</p>
<p>(4) その他</p>	<p>本設問以外に市町村との協働に向けて気になることがございましたら記載をお願いします。</p> <p>()</p>

市町村へのアンケート

貴市町村において包括的な支援体制の整備をすすめるにあたり、社会福祉法人等による「地域における公益的な取組（※）」との連携についてお伺いします。
 ※ 社会福祉法第24条第2項に規定

地域福祉計画への位置づけ	① 包括的な支援体制整備として社会福祉法人等による「地域における公益的な取組」を計画に位置づけているか。
	<input type="checkbox"/> 位置付けている <input type="checkbox"/> 位置付けてない
	② 設問①で位置付けていないと回答した市町村にお聞きします。
	<input type="checkbox"/> 次期計画策定時に位置付ける予定 <input type="checkbox"/> 現時点では計画に位置付ける予定はない
地域における公益的な取組との連携	③ 包括的な支援と社会福祉法人・施設等による「地域における公益的な取組」との連携について
	<input type="checkbox"/> 公益的な取組と連携し実施している取組※がある。（具体的な内容について、以下の欄に記載） ※市が実施している配食サービスの対象にならないが、見守りや栄養改善が必要な家庭への配食サービスを公益的な取組として実施してもらっている。 <input type="checkbox"/> 個別ケースの支援でよく連携している。（主な事例について、以下の欄に記載） <input type="checkbox"/> 連携したいと考えているが、どう連携すればよいか分からない。 <input type="checkbox"/> 具体的な連携等は考えていない。
施設連絡会との連携	④ 市町村社会福祉協議会が事務局を担う「地域貢献委員会（施設連絡会）」との連携について
	<input type="checkbox"/> 地域貢献委員会（施設連絡会）のメンバーとして参画している。 <input type="checkbox"/> 地域貢献委員会（施設連絡会）にオブザーバーとして参画している。 <input type="checkbox"/> 個別の課題や取組を進める際に適宜参画している。（具体的な課題・取組について、以下の欄に記載） <input type="checkbox"/> これまで参画・連携してないが今後していきたい。 <input type="checkbox"/> 具体的に参画や連携は考えていない。
その他 【自由記述】	⑤ 市町村が包括的な支援体制を整備を進めていく中、社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の連携について課題と感じていることはありますか。
	()